

農業塾第8講 秋冬野菜の播種と定植後の管理



今回は、秋冬野菜の播種と定植後の管理について講習会を行いました。

秋冬野菜の代表作物は、アブラナ科のキャベツ・白菜・ブロッコリー・だいこん。セリ科のにんじんやセロリも今が植え時期です。栽培のポイントは、苗づくりと間引きです。丈夫で健全な苗を選び、直まきの場合は、少しずつ間引いて、より健全な一本に育てましょう。



さっそく圃場にて実習。2班に分かれて種まきと定植を行いました。

種まきでは、レタス・白菜・ブロッコリーを1人1トレーずつ播種。培土をきっちりつめて、植穴をつくり一粒ずつ丁寧にまいて頂きました。育苗のポイントは、覆土の厚さ。作物の種類によって厚さを変え、特にレタスは覆土をしないのがコツ。出来たトレーは各自持ち帰り、各家庭で育ててもらいます。



農業塾の圃場には、白菜・小松菜を定植しました。

事前に堆肥と肥料を施し、畝たてをしていた圃場に苗を一本ずつ等間隔に植えて頂きました。

また、直まき栽培として、にんじんとだいこんの種をまきました。ひと畝に3列にすじまきを行い、軽く覆土。元気な芽が出てくるのが楽しみです。

事務局の近本からひとこと

農業塾の圃場を八女市平田に移転しました。

新しい環境で新たな気持ちで頑張ります。